学校番号	402

令和２年度　国語科

教科	国語科	科目	古典Ｂ	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	改訂版　古典Ｂ　古文編　漢文編　（数研出版）						
副教材等	クリアカラー国語便覧（数研出版）新精選古典文法改訂版（東京出版） 完全頻度順入試対策ベストセレクション古文単語３２５改訂版（尚文出版） 精選漢文（尚文出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・有名な古文と漢文の作品に親しむとともに、正しく場面や心情等を理解するために、語彙力や文法の知識をしっかりと身につけて下さい。
・予習として本文を読んで、場面をイメージしておきましょう。授業の後には内容を振り返って復習してください。

２　学習の到達目標

・文章の主題や登場人物の心情を的確に捉えて場面をイメージし、古典の本文を正確に現代語訳できるようにする。
・１年次に習得した用言と助動詞、また漢文句法に関する知識を確認し、具体的な古文・漢文の文脈に即してその知識を活用できるようにする。また、助詞・敬語法や新たな句法について学習し、正確な読解ができるようにする。
・古文読解に必要な古文単語・古文熟語を覚え、また古文に関する文学史の知識を深める。
・漢文の独特のリズムを味わい、長文の読解に慣れ、場面を的確にイメージして正確に現代語訳できるようにする。また、漢詩の美しさを深く味わうことができる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:読む能力	c:知識・理解
観点の趣旨	古典世界に興味を持ち、当時の人々の生活、考え方、時代背景を理解しようとしている。	古典文法や古文単語、また漢文句法の知識を踏まえて、正確に現代語訳したり、漢文に訓点を施したりできる。	古典文法・古文単語・漢文句法・文学史等の知識を身につけている。
評価方法	行動の観察	行動の観察 記述の確認及び分析 定期考査	行動の観察 記述の確認 定期考査 小テスト

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
前期	随筆	「すさまじきもの」 「大納言殿参り給ひて」 「ゆく河の流れ」 「養和の飢饉」		◎	○	b:本文に即して場面をイメージできている。 c:古典文法・古典単語を身につけている。	b:行動の観察、記述の確認分析、定期考査 c:行動の観察、記述の確認分析、定期考査、小テスト
	物語	「光源氏の誕生」 「小柴垣のもと」		◎	○	b:本文に即して場面をイメージできている。 c:古典文法・古典単語・漢文句法を身につけている。	b:行動の観察、記述の確認分析、定期考査 c:記述の確認、定期考査、小テスト
	小話・漢詩	「漱石枕流」 「黄鶴楼」	○		◎	a:中国の歴史や漢文の世界に興味を持っている。 c:漢文句法の知識を踏まえて、正確に書き下し文や現代語訳ができる。	a:行動の観察 c:記述の確認、定期考査、小テスト
後期	物語	「花山院の出家」 「道長の剛胆」		◎	○	b:本文に即して場面をイメージできている。 c:古典文法・古典単語を身につけている。	b:行動の観察、記述の確認分析、定期考査 c:行動の観察、記述の確認、定期考査、小テスト
	史伝	「鴻門之会」 「四面楚歌」 「項王自刎」		◎	○	b:漢文句形の知識を踏まえて、正確に書き下し文や現代語訳ができる。 c:漢文句形や漢文特有の語彙が理解できている	b:行動の観察、記述の確認及び分析、定期考査 c:記述の確認、小テスト、定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:読む能力　　c:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。